



高校生クイズinイングリッシュ

10月21日(日)に和歌山市の「わかちか広場」にてクイズinイングリッシュが行われ、本校から、2年生の生熊さん、進藤さん、那々木さん、伊森さん、石山さん、矢本さんの6名が参加しました。これは、英語についての知識や和歌山県・日本・世界の事柄について英語で質問され、これに答えるものです。

参加した生徒たちは、「英語の質問を聞き取るのは難しかったけど、吹奏楽の演奏を聴きながら楽しく取り組めた」や「トルコとの交流にちなんだ問題も多く出されたので、これらには自信を持って答えることができた」などと語ってくれました。惜しくも上位入賞はしましたが、参加した全員が「いろいろな知識を広げ深めるとともに、英語力を高めていきたい」と思ったようです。来年度の活躍に、期待します。



津波の日高校生サミット

10月31日から11月1日まで、「世界津波の日」2018 高校生サミット in 和歌山が、和歌山市を中心に開催されました。

これは、世界48カ国の高校生約380人が津波防災について議論するもので、今年で3回目になります。本校からは、2年生の伊森さん、問山さん、生熊さん、1年生の野田さんが参加しましたが、その中で伊森さんは議長として参加、日高高校の中井さんとともに、見事にその大役を果たしました。



英語で討議をして内容を深めていくという難しいものでしたが、よい経験になったと思います。参加した生徒たちは、「地理的な問題を除けば、ほとんどの国が若者の防災意識が低いという問題を抱えている」や「様々な生徒の発表を聞いて、自分たちの地域での避難訓練に活かせられそうなものばかりだった」、「このサミットが未来につながればいい」と感じたそうです。また、閉会后に伊森さんは、「議長の仕事は大変だったけど、楽しめた」と話してくれました。

参加した皆さん、ご苦労様でした。

マリンスポーツ海洋実習

10月17日と24日に、2年生グローバルコースの生徒を対象とした、マリンスポーツ海洋実習を行いました。これは、この4月からスクューバダイビングの資格取得(PADIオープンウォーターダイバー・ライセンス)を目指して学科教習やプール実習を行ってきましたが、その仕上げとして、実際に海に潜って最終的な技能を学ぶものです。水深7メートルまで潜ってから水面まで上がることを繰り返したり、海底でのマスククリアー(ダイビング中にマスクの中に入った海水を、水中でマスクの外に出すこと)などを行いましたが、楽しみながらも真剣に取り組みました。

今まで海で泳いだことがあっても、これだけ深いところまで潜るのは初めてで、全員がその新鮮な光景に感動していました。また、泳ぐのが苦手な人も参加しましたが、泳ぐのと潜るのとは違うようで、抵抗なく実習に参加、今回の実習で「水への恐怖感がなくなった」と語ってくれました。

両日とも天候に恵まれて水温も比較的高く、良好な環境の下での実習となりました。また、参加者全員が無事に講習を終えることができました。

ご指導いただいた串本ダイビング協会の皆様、ありがとうございました。



スタディーツアー

「津波の日高校生サミット」にあわせて、10月30日(火)にスタディーツアーが行われました。これは、本校生徒約50名がホスト役を務め、海外高校生約120名をエスコートして列車に乗り込み、車内で防災についての、様々な学習を行うものです。

当日は串本駅ホームで海外高校生を出迎え、各国の担当が案内して、列車に乗り込みました。途中の橋杭岩や那智川鉄橋では列車はスピードを落とし、それにあわせて担当が、英語で説明を行いました。

また、新宮・三輪崎間では津波を想定して緊急停車し、一斉に車外へ出て高台に走りました。海外の生徒たちも真剣に取り組み、素早く高台へ避難することができました。

ずっと英語を話し続けるのは大変だったようですが、みんな積極的に関わろうとしていたのが印象的でした。また当日は、お菓子を用意したり、担当国の旅行本を用意するなどして、各班それぞれのおもてなしをしてくれました。海外の生徒と、SNSを通じてつながっている人もいます。

半日だけでしたが、非常によい経験になったと思います。



11月2日

11月2日(土)16時54分に紀伊水道を震源とする地震があり、串本では震度4が観測されました。

このときに学校では、揺れが収まってから教員で状況を把握するとともに、「津波の心配なし」の発表を受けて、一斉放送で連絡をしました。この時点ですでに、多くの生徒が声を掛け合い高台へ避難していました。まさに率先避難者として、日頃の訓練の成果が発揮されたと感じます。